

Q 痛みが少ないって、本当？

A 切る手術とは異なり、レーザー照射時の痛みはほとんどなく、麻酔の必要もありません。
それでも心配な方は、ご相談ください。
※痛みの感じ方には、個人差があります。

Q 1回の治療で、良くなるの？

A 1回の治療でも改善が見られますが、繰り返し治療することで、2～3回目くらいからはっきりと変化が実感できます。さらに、数ヶ月に一度、メンテナンスを行うことで、効果の維持が期待できます。
※効果のあらわれ方や持続期間には、個人差があります。

Q 治療後は、なにもしなくていいの？

A 入院する必要はなく、切る手術ではないため、出血することはありません。
治療直後に、消毒や薬を塗る必要もなく、普段通りの生活をしていただけます。

お問い合わせ

いびきが気になる方に

～ 緩んだ粘膜を引き締め、気道を確保 ～
最新レーザー治療のご案内

切らない

痛みが
少ない！

あっという間

治療時間
約20分

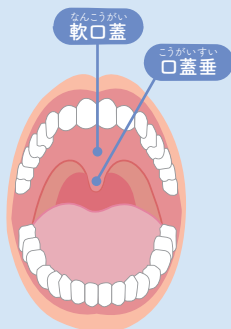
お気軽

治療直後
食事OK！

「いびき」って何でかくの？

いびきは、喉の奥の口蓋垂や軟口蓋と呼吸される部分が、空気の流れによって振動し、音が出ることで起こります。

人によって、口蓋垂や軟口蓋などの粘膜のヒダの幅が広かったり、長かったりするため、わずかな空気でも振動を起こし、大きないびきとなります。



いびき（無呼吸症候群）が気になる方に

オススメの

最新レーザー治療をご紹介します！

レーザーを、口の中（口蓋垂や軟口蓋など）に照射して、熱エネルギーでキュッと収縮させて、上気道周囲の体積を広げます。同時に、コラーゲンも生成されるため、口の中の引き締まった状態が続きます。

これにより、口の中の緩んだ粘膜を引き締め、いびきを軽減します。

「無呼吸症候群」って何？

無呼吸症候群は、眠っている間に呼吸が止まる病気です。

睡眠は、本来、脳と身体を休息させるためのものですが、寝ている間に大きないびきと入れ替わりで呼吸停止が繰り返され、身体へ大きな負担をかけてしまいます。



その結果、眠気や倦怠感、集中力の低下、頭痛などが引き起こります。

じゃあ、どうしたらいいの？

いびきや無呼吸症候群の原因の1つに、**空気の通り道である上気道※が狭い**ことが考えられます。

口で呼吸をしていると鼻呼吸に比べ、軟口蓋が落ち込みやすく、より空気抵抗を大きくします。

軟口蓋や舌の付根といった上気道の周りにある組織が重力によって落ち込むと自然と上気道が狭められやすくなるため、お肌と同じで引き締めて気道を確保する必要があります。

※ 気道のうち、鼻から鼻腔、鼻咽腔、咽頭、喉頭までをいう

治療の流れ

診察

照射
(約20分)

帰宅

口の中の状態を確認します。

切らないので出血がなく、日帰りできます。

食事もでき、普段通りに過ごせます。

ダウンタイム※もないし、アフターケアも必要ないから、気軽でうれしい！

※ 施術してから回復するまでの期間

